

# 光を見た ハンセン病の同胞たち

きょうだい

四六判 336頁 本体 2200円(税別)

趙根在[著]



『朝日新聞書評』(安田浩一氏、2024年10月12日)  
『京都新聞』『沖縄タイムス』『静岡新聞』  
雑誌『地平』(斎藤真理子氏、2024年11月号) etc  
各紙誌絶賛!

1960年代初頭から1980年代初頭にかけて、全国各地のハンセン病療養所を訪れ、ハンセン病に関する事柄を記録し続けた、元炭鉱労働者で、在日朝鮮人二世の写真家による、自伝的回想と撮影写真48点を収録。上野英信との思い出・追悼文もあり。

ハンセン病を撮り  
続けた  
稀有な写真家が  
書き遺した渾身の文章  
そして撮影写真を収録

趙根在(チョウ・グンジェ、1933～1997年)

✦

愛知県生まれの在日朝鮮人二世の元炭鉱労働者、写真家。中学三年から炭鉱で働き、その後、映像制作現場での照明の仕事などを経て、1961年より多磨全生園を皮切りに、全国各地のハンセン病療養所を訪れ、以後、20年間にわたり、入所者、建物・施設、行事などの写真を撮影する。その点数は少なくとも2万5000点におよぶ。写真撮影から離れて以降、ハンセン病問題を根源から問い直す研究に打ち込む。撮影フィルムは、国立ハンセン病資料館に所蔵されている。

写真集に『趙根在写真集 ハンセン病を撮り続けて』(草風館、2002年)、『詩と写真 ライは長い旅だから』(詩・弐雄二、皓星社、1981年、2001年にブックレットとして再刊)、監修書に『写真万葉録・筑豊』(全10巻、1984～86年、葦書房、共同監修者・上野英信)がある。

図書出版クレイン TEL&FAX042-384-9790 <https://www.cranebook.net>

以下に必要事項を明記し、FAXしてください。電話・ホームページでも受け付けております。  
書店様にこのチラシをお渡しいただいてもけっこうです。

ご住所	〒	
(ふりがな) お名前		
TEL		冊